



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社プラップジャパン 上場取引所 東
コード番号 2449 URL <https://www.prap.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 勇夫
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 望月 俊男 (TEL) 03(4580)9111
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信形式)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,383	△1.2	242	△37.5	247	△36.8	109	△54.7
2023年8月期第2四半期	3,423	9.3	387	92.7	391	93.7	242	137.9

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 132百万円(△46.6%) 2023年8月期第2四半期 248百万円(71.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	24.97	—
2023年8月期第2四半期	55.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	6,900	5,246	72.3
2023年8月期	6,852	5,298	73.3

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 4,989百万円 2023年8月期 5,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年8月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,170	8.1	790	8.2	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても黒字の計上を見込んでいますが、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期2Q	4,679,010株	2023年8月期	4,679,010株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	260,528株	2023年8月期	296,628株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期2Q	4,396,267株	2023年8月期2Q	4,356,146株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・会場型の決算説明会に代えて、2024年4月25日より、当社ホームページ(<https://www.prap.co.jp/>)のIRページにて、動画配信形式で決算説明動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「世の中のあらゆる関係性を良好にする」というミッションを軸に、日本・中国・シンガポールに拠点を有するコミュニケーション分野に専門性を持ったグループ会社と連携し、PR発想でのコミュニケーションコンサルティングサービスを包括的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、入国制限措置の緩和後の訪日外国人の増加によって、インバウンド需要の回復傾向が持続し、経済活動の正常化に向けた動きが進展しました。

また、当社グループが拠点を有する中国や東南アジアでは、新型コロナウイルス感染症の影響は抑制されており、国境を越えた人の移動や企業投資が活発化しております。

このような状況のもと、当社グループは、この数年間注力してきたリアルとデジタルの両面でクライアントのコミュニケーション活動を支援するためのサービス提供に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,383百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業利益は242百万円（前年同四半期比37.5%減）、経常利益は247百万円（前年同四半期比36.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は109百万円（前年同四半期比54.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績などの概要は、以下のとおりです。

①コミュニケーションサービス事業

コミュニケーションサービス事業では、コミュニケーション戦略策定などのコンサルテーション、メディアやインフルエンサーとの関係性を構築するリレーション活動や、情報をメディアを通じてステークホルダーへ伝えるパブリシティ活動を含めた情報流通のデザインなど、コミュニケーション活動において包括的なサービスを提供しております。

国内PR会社では、ニーズが拡大しているサステナビリティPR、豊富な実績を有する危機管理広報コンサルティングやヘルスケア・IT業界向けの案件を中心に受注を獲得した一方で、前期に獲得したイベント案件やメディアタイアップ案件の反動減をカバーするまでには至らず、これらの結果、コミュニケーションサービス事業の売上高は2,902百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は285百万円（前年同四半期比23.3%減）の増収減益となりました。

②デジタルソリューション事業

デジタルソリューション事業では、広報PRのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するクラウドツールの提供、デジタル広告やソーシャルメディアの運用、動画・バナー・WEBサイト等のクリエイティブ制作といったサービスを提供しております。

プラップノードが提供する広報PR業務のSaaS型クラウドサービス「PRオートメーション」は、広報PRのDX推進に向けて、クライアントのニーズに対応した機能追加・改善を継続的に実施しながら堅調に導入クライアント数を増やしており、さらなるクライアント獲得に向けた投資を実施しました。また、プレジジョンマーケティングは、継続してクライアントのニーズが高いデジタル広告やSNS運用といったデジタルマーケティング関連サービスの受注を獲得した一方で、前期に国内外で離脱した大口クライアントの減収分をカバーするまでには至らず、これらの結果、デジタルソリューション事業の売上高は565百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期はセグメント利益55百万円）の減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、5,807百万円と前連結会計年度末に比べ86百万円の増加となりました。これは、有価証券100百万円、現金及び預金65百万円が減少したものの、売掛金159百万円、棚卸資産87百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,093百万円と前連結会計年度末に比べ38百万円の減少となりました。これは、のれん39百万円が減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,594百万円と前連結会計年度末に比べ141百万円の増加となりました。これは、未払法人税等40百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金175百万円、契約負債51百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、59百万円と前連結会計年度末に比べ40百万円の減少となりました。これは、固定負債その他に含まれる長期未払金29百万円が減少したことが主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、5,246百万円と前連結会計年度末に比べ52百万円の減少となりました。これは、利益剰余金65百万円が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、現時点において2023年11月13日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,130	4,065
売掛金	1,095	1,254
契約資産	10	20
電子記録債権	59	42
有価証券	100	—
棚卸資産	128	216
その他	197	209
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	5,720	5,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	98	92
その他（純額）	101	83
有形固定資産合計	199	176
無形固定資産		
のれん	326	287
借地権	0	0
ソフトウェア	156	168
無形固定資産合計	483	456
投資その他の資産		
投資有価証券	67	81
差入保証金	259	255
繰延税金資産	90	83
その他	35	43
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	449	460
固定資産合計	1,131	1,093
資産合計	6,852	6,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	607	783
未払法人税等	168	128
契約負債	134	185
賞与引当金	68	75
役員賞与引当金	6	—
1年内返済予定の長期借入金	3	3
その他	465	417
流動負債合計	1,453	1,594
固定負債		
長期借入金	11	9
退職給付に係る負債	5	5
その他	84	44
固定負債合計	100	59
負債合計	1,553	1,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	538	536
利益剰余金	4,108	4,042
自己株式	△218	△191
株主資本合計	4,899	4,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	21
為替換算調整勘定	107	108
その他の包括利益累計額合計	120	130
非支配株主持分	278	257
純資産合計	5,298	5,246
負債純資産合計	6,852	6,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	3,423	3,383
売上原価	2,113	2,131
売上総利益	1,310	1,252
販売費及び一般管理費	922	1,010
営業利益	387	242
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	0
補助金収入	2	0
その他	4	3
営業外収益合計	6	5
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	3	0
経常利益	391	247
税金等調整前四半期純利益	391	247
法人税等	122	123
四半期純利益	268	123
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	242	109

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	268	123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	9
為替換算調整勘定	△22	△0
その他の包括利益合計	△20	9
四半期包括利益	248	132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231	119
非支配株主に係る四半期包括利益	16	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーションサービス事業	デジタルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,895	528	3,423	—	3,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	112	118	△118	—
計	2,900	641	3,541	△118	3,423
セグメント利益	371	55	426	△38	387

(注) 1. 調整額の区分は、のれんの償却費38百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーションサービス事業	デジタルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,894	489	3,383	—	3,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	75	84	△84	—
計	2,902	565	3,468	△84	3,383
セグメント利益又は損失(△)	285	△2	282	△39	242

(注) 1. 調整額の区分は、のれんの償却費39百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	コミュニケーションサー ビス事業	デジタルソリューション 事業	
日本	2,183	304	2,488
中国	617	—	617
その他海外	93	223	316
顧客との契約から生じる収益	2,895	528	3,423
外部顧客への売上高	2,895	528	3,423

(注) 収益は当社及び当社グループ会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	コミュニケーションサー ビス事業	デジタルソリューション 事業	
日本	2,094	321	2,415
中国	741	—	741
その他海外	58	168	226
顧客との契約から生じる収益	2,894	489	3,383
外部顧客への売上高	2,894	489	3,383

(注) 収益は当社及び当社グループ会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。